

～医師の余命宣告を乗り越えて～

『いのちの声を聴く』【著者】
シャムレツフェル・レックス

ステージⅣの末期がん、余命6カ月と宣告されてから10年超
 生きること、それが幸せであり奇跡だ
 余命を延ばすための「こころとからだ」の癒しのメソッド

主な内容

- 【第1章】失いかけた命を取り戻すまで
…「人生の重大事件」は平和な日常にやってくる
- 【第2章】“いのちの危機”との向き合い方
…あなたは自分が「何のために生き続けたいか」わかっていますか？
- 【第3章】治癒力が目覚める“こころの重荷”の下ろし方
…医師の「余命宣告」に殺されてはいけない
- 【第4章】こころとからだに効く癒しのメソッド
…笑い、睡眠、運動、イメージ療法、音楽療法、愛情療法
- 【第5章】この世と命の真実に触れる“明晰夢”
…明晰夢が教えてくれた“本当の幸せ”と“人間の本性”
- 【第6章】牧師から僧侶になった僕が伝えたいこと
…がん患者で健康ホテルオーナーの僕が“僧侶になった理由”
- 【第7章】病気に縮こまらず思い切り人生を楽しむ方法
…自信喪失に悩んだ妻が勝ち取った“ミセス静岡グランプリ”
- 【第8章】楽しい“死のプラン”“死後のプラン”を練ってみよう
…自分なりの死生観を持てば死は恐なくなっていく

いのちの声を聴く

シャムレツフェル レックス 著
 SCHAUMLEFFEL REX



故・レックスさんとの思い出～日本のがん治療に一石を投じる1冊

『いのちの声を聴く』著者のシャムレツフェル・レックス氏は、がんとの闘病生活を2021年11月18日に終えて永眠されました。それから3年後、シャムレツフェル公子夫人のご尽力により、ようやく出版の運びとなりました。レックスさんは米国人の父と日本人の母を持つ東京育ちで、約8年前に弊社のケイ素浴システムを導入していただいたのを機に、がん患者様やご家族に向けたセミナーや勉強会を共同開催しました。宣教師であり、お坊さんでもあるレックスさんは、経営者としても成功され、大きな才能を持つ努力家でした。何より一番はご家族を大切にされ、特に奥様である公子様への愛情表現は私たち日本人が学ぶべき良き男性であり夫でした。余命半年を医師から宣告され、その後10年生きられた軌跡は、今の日本のがん治療に一石を投じるものがあり、まさに今この時もがんで苦しむ患者やご家族の皆様はこの本をお薦めいたします(GH:増田博美)。